大津市民病院訪問看護ステーション

訪問看護だより

（vol. 5　2021 年 春号）

春は出会いと別れの季節。
私たち訪問看護ステーションでも、スタッフが１名退職することになりました。

ごあいさつ
この度、一身上の都合により３月末で退職する運びとなりました。
利用者様、ご家族様にはよくしていただき、大変感謝しています。
至らない点も数多くあったと思いますが、厳しくも温かい言葉を励みに、
多くのことを学ばせていただきました。
今までお世話になり、本当にありがとうございました。
小野寺　奈緒美

小野寺さん、お疲れさまです。また機会があれば訪問看護へ！
また４月には新しいスタッフが増える予定で、この便りでも紹介したいと思っています。

ひな祭りの思い出

利用者さんのお宅に訪問すると、様々な思いのこもった品を見せていただくことがあります。
３月にはたくさんのひな人形を見せていただきました。今回は、その中の１つをご紹介します。

Ｏさん（70 歳代　女性）の思い出のひな人形。
『私が１，２歳の頃に、お父ちゃんが土人形のおひなさんを買ってきてくれたんです。顔がわらべの顔でかわいくて、まん丸の橘と桃の花も気に入って買ってきたんやと聞いてます。孫ができたらもっとええのを買うたるで、と言ってましたが、私は子どもに恵まれず。夫は私が 43 歳の時に癌で亡くなって、また実家に戻ることになりました。おひなさんと出たり入ったり。ずっと一緒に生きている、そんな感じがしています。これが壊れてしまったら、その時が私の最期になるのと違うかと思うくらいです。』

子どものすこやかな成長を祈るご両親の思いと、それを大切にしてきたＯさんの思いを感じます。
皆様からの様々なエピソードも募集中です。